

# 自己点検・自己評価報告書(令和元年度)

学校法人瓶井学園 日本メディカル福祉専門学校  
こども福祉学科(通学2年課程)・保育士科(通信3年課程)

令和2年4月1日作成

## 1 学校の教育目標

こどもにとって重要な乳幼児期に関わる専門職として、保育の現場で必要となる専門知識・技術を持ち、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもを取り巻く種々の環境を調整するための確かな判断と対応ができる優れた保育士を育成する。

また、少子化が進み、家庭や地域での子育て力の低下が指摘され、こどもだけでなく保護者に対しても個々の状況に応じた支援が求められているなか、社会福祉士国家資格や幼稚園教諭1種免許状を併せて取得し、ソーシャルワークのスキルを持った保育士として専門的かつ実践的に対象者に関わっていくことのできる人材を育成する。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 保育に携わるものとして求められる公共心、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 有識者や保育現場等の関係者からの意見を取り入れ、より実践的な知識・技術修得を目指し、保育士(専門職)としての価値観を身に付ける為、授業内容を充実させる。
- (3) 在校生、卒業生、保護者だけでなく広く実習先や関係機関等地域社会に対し、本校の教育に対する理解を深めていただけるよう情報を発信する。
- (4) ホームページの充実を図る等して、本学科の認知度の向上に取り組む。
- (5) 教員の資質・指導力を向上させるため、積極的に部外の研修に参加すると共に、フィールドワークの場を持つことを勧めていく。
- (6) 就職支援の充実を図り、学生の希望が実現できるように情報収集と個別指導を徹底する。  
希望する学生には、早期より就職支援を受ける機会を提供する。
- (7) 学生数が減少し、集団教育の成果が得られにくい場面も散見される。全職員が一人でも多くの入学生を確保するための広報活動に積極的に取り組む。

### 3 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	
学校における職業教育の特色は明確か	④ 3 2 1	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	

#### 【総括・特記事項】

##### (2 科共通)

- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などについて、教職員が熟知し、折に触れ学生に伝えている。対外的にはホームページ、学校案内などに本校の教育方針と特色(アドミッション・ポリシーなど)を記載しており、概ね周知されている。

##### (こども福祉学科)

- ・入学式終了後に保護者説明会を実施することにより、学生の教育理念に関して保護者に理解を深めて頂くことが出来ている。については、継続的に説明会や懇談会の実施に向けての取組が必要である。
- ・社会福祉士の受験資格取得を希望する者には、本校の社会福祉士科通信課程に在籍させ、国家試験合格に向けた学習をバックアップしている。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1	
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(2 科共通)

- ・定められた運営方針は、管理者会議、学科会議等を通じて教職員に伝達されている。
- ・学校の目的、目標の達成や社会のニーズへの対応のため、各委員会・研修会を開催し、学校運営を行っている。
- ・「中途退学・除籍者」の低減を図るとともに正規学生による定員充足を図るための具体的な施策が求められる。
- ・教育活動等に関する情報公開は、ホームページや学校案内、学生募集要項等で行っているが、学生の学内の様子なども取り入れながら、入学希望者、在校生、保護者などにとってわかりやすい内容とするため見直しを行っている。又、SNSを活用し、情報発信を行うことが引き続き必要である。
- ・業務効率化を図る情報システム化については一応整備されているが、引き続き改善の見直しが必要である。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1	
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1	
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1	
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはできているか	④ 3 2 1	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1	
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1	
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1	
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2 科共通)

- ・厚生労働省が指定する保育士養成施設として、令和元年度入学生から新カリキュラムに則った教育を実施している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言時にはオンライン授業を導入する。又、情勢に合わせ、三密対策をとった上で、学科運営（登校日の設定や対面授業の実施など）を行っていく予定である。
- ・保育士資格は卒業と同時に取得でき、カリキュラムの上で明確に目標として定められている。
- ・各科目の指導内容・方法等は、所定のシラバスを作成し講義概要として学生に配付している。各科目のシラバスでは、主に授業目標、授業内容及び担当教員名、成績評価基準などを明記している。
- ・法令により教員資格要件が設定されているため、専門分野の知識・技能レベルが充足した教職員を確保できているが、スキルアップを目指し教職員の外部研修の受講や国家資格取得を奨励している。
- ・講師要件を備えた教員が学生の特性に配慮した授業を展開できるようにしている。特に実践力のある保育士養成を目指し演習科目については、複数名の教員を確保している。
- ・単位認定や卒業要件を明示するとともに、各担当教員は厳密に成績評価を行い、判定会議を経て単位認定を行っている。

(こども福祉学科)

- ・大学卒以上の入学者には、社会福祉士国家資格（受験資格）、幼稚園教諭 1 種免許状も併せて取得できるカリキュラムを設定し、卒業後の活躍の場を広げている。
- ・カリキュラムとは別に、関連施設である「豊新かめっこ保育園」での見学実習を行い、保育士の働く場を目の当たりにして、カリキュラムの実習へのモチベーションを向上させる。当校教員が保育のカリキュラムの一貫として園児全員を対象としてリトミック指導する際に学生も指導技術を学ぶ目的で参加させている。
- ・総合評価点の算出において、授業への意欲度（出席点）の算出を教務課で一定割合とした。

(保育士科)

- ・令和2年度4月から継続履修は履修年の翌年度に限り、履修可能とする進級規定を運用している。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1	
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1	
退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(こども福祉学科)

- ・求人情報収集と共に面接指導等、就職に向けての指導を十分に行っている。
- ・例年、本校で取得できる免許や資格を活用して就職率100%を目指している。令和元年度は就職希望者のうち2名が希望する就職先に就職できなかった。
- ・社会福祉士国家試験受験者2名は合格であった。学校独自の科目について時間数を変更したため、一定期間が経過した後に検証を行い、今後の取組に活かしていく。
- ・令和元年度は、中途退学者及び休学者は皆無であった。
- ・同窓会委員会を設立する事を目標におき卒業生と連絡をとることを進めているが、卒業年によっては連絡網が不完全な状況である。については、引き続き卒業生の情報発信ネットワーク構築に努力する。

(保育士科)

- ・令和元年度は、3学年を通じて中途退校者が2名、休学者はいなかった。中途退校の理由は、家庭の事情であった。仕事や育児をしながらの学習のため、継続の難しさがうかがえる。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1	
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
学生への生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1	
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1	
卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1	
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1	
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・雇用保険加入歴のある学生には「専門実践教育訓練費および訓練支援金」の利用を勧めている。
- ・平成28年度に創設され各都道府県社会福祉協議会が担当する「保育士修学資金」の利用を勧め、経済的に安定した学生生活を送れるように支援している。
- ・卒業生からの転職、キャリアアップ等の相談には随時対応している。
- ・高等教育の修学支援制度の対象学科として、経済的な支援（学費サポート）制度を案内し、利用を進めている。
- ・特に未成年者の生活環境や学習状況、成績などで気になる点がある場合は、保護者に連絡をとり、連携をとっている。

(こども福祉学科)

- ・令和元年度の就職希望者の就職率は約70%であった。
- ・学生が個々に就職活動をするのではなく、学校と相談の上で進路を決定するようにしているため、進路・就職に関する支援体制は学生にとって充実したものになっている。
- ・就職に関しては、担任を含むチーム学校としての支援体制を構築し、希望職種・希望施設への就職が実現できるように関わっていく。
- ・学園独自の奨学金(入学金全額免除・授業料一部減額)は、該当者全員が利用している。
- ・学生が心身ともに健全な学生生活を送る為に、担任等が定期的に個人面談を行い対人関係、学業などの悩みがある場合は積極的に対応できる体制を整えている。
- ・ボランティア活動に備え、ボランティア保険に加入(1年生)している。
- ・学園の学生寮に入居している学生については生活環境の把握ができています。又、親元等から離れ、一人暮らしをしている学生についても生活環境を把握するように努めている。

- ・平成28年度より、前期、後期の成績が確定後、保護者に理解と納得が得られるようにし、保護者による学生指導などの協力を得るように取り組んでいるが、保護者会の開催は出来ていない。但し、社会人経験のある学生については保護者の招致を控えている。
- ・社会人経験のある入学者は目的意識の高い者が多く、大卒以上の者限定ではあるが、社会福祉士国家資格、幼稚園教諭1種免許状を併せて取得できるカリキュラムを設定している。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
施設及び教育設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1	
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1	
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・厚生労働省指定カリキュラムに沿った施設・設備を整備している。
- ・海外研修については、民間企業の研修ツアー等を紹介するにとどまっている。
- ・防災については、消防署による定期的な検査・点検を受け法令に基づいた体制が取れている。  
(こども福祉学科)
- ・学習については、1年次10月に保育所実習を、12月に施設実習を実施し、2年次7月に保育所実習又は施設実習のどちらかを学生が選択の上、実施している。その際、実習先の協力を得て効果的な実習が行えるように実効性のある事前指導・巡回指導・事後指導に取り組んでいる。
- ・産学接続プログラムの一環として関連施設である豊新かめっこ保育園での見学実習を行っている。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確認
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・入学事務局、広報担当、広報委員を中心に、全職員が適正な学生募集活動を行っている。
- ・学校案内においては、授業内容、資格の内容等を示しており、毎年適宜見直し・改良している。ホームページについては除々に内容が充実してきているが、さらに興味を引くような内容に適宜改良を進めている。特に、より正確かつタイムリーに志願者・保護者等に伝わるものとなるよう努める余地がある。
- ・入学選考方法は学生募集要項に明記しており、適切かつ公平な基準に基づき行われている。
- ・学納金は、教育内容、社会状況、学生及び保護者の負担感等を考慮して設定されている。  
(こども福祉学科)
- ・入学選考面接は、複数担当者にて実施している。
- ・本校独自の奨学金制度も利用できるようになっている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。
- ・学校会計基準により財務諸表が作成され、予算と収支管理が行われている。
- ・財務について、会計監査が適正に行われている。
- ・学園ホームページにて、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表を公表している。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1	
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・法令や設置基準等が遵守され、適正な運営を行っている。また各部門において、会議等を行い設置基準等の正しい理解に努め、運営を行っている。
- ・個人情報保護委員会を設置し、職員教育を徹底している。
- ・自己点検・自己評価を実施し、昨年度の問題点の改善に取り組み、成果を上げている。
- ・今年度もホームページにて「自己点検・自己評価報告書」ならびに「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行なった。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	評価委員 確 認
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1	
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1	

【総括・特記事項】

(2科共通)

- ・平成28年度から、日本メディカル福祉専門学校として、医療法人が主催する地域住民への医学公開講座に、教室を無料提供している。

(こども福祉学科)

- ・近隣中学校における出張授業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。今後も各教育機関や地域との連携・交流を図っていく予定である。
- ・社会福祉士科と連携し、地域の子どもたちを対象とした「のびのび学習室」でのボランティアについて情報提供を行なうなど、活動を奨励している。

(11) 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切3、 やや不適切…2、不適切1	評価委員 確 認
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 ③ 2 1	
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1	
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1	
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 ③ 2 1	

【総括・特記事項】

(こども福祉学科)

- ・平成29年度、平成30年度は、令和元年度は留学生の入学は皆無であったが、いつでも受け入れ可能な学内体制が準備できている。

## 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

### (2科共通)

入学者を増やすことが喫緊の課題である。ホームページ充実等の情報発信、広報活動に力を入れるとともに、より実践的な教育内容、内外の研修を活用した教職員の質の向上を図り、在校生に対する教育を充実させることで、入学希望者にとっても魅力ある学科と感じてもらえるよう、重点的な取り組みを行う。

オープンキャンパスにおける対応において、保育士養成カリキュラムの中でも最も関心が高い音楽や創作活動等の実践的な科目の一部を体験してもらい、保育士としての適職性について自信を持ってもらえるように働きかける。又、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンライン説明会の需要が増えてきている為、即時的かつ、個別で相談が出来る体制づくりを整備していく。

保育士養成課程の教科目変更により、令和元年度入学生から新カリキュラムに則った教育を実施している。教育の内容及び効果の検証については、一定の期間が経過した後に学内教員や教育課程編成委員会の委員等（有識者や保育施設等の関係者）からの意見も得て計画的に、より実践的な知識・技能の修得を目指し、授業内容を充実させることを目標とする。

なお、学習支援が必要な学生の入学が増加しており、個別化によるサポートが必要となっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、授業形態の工夫や授業内容の変更を行っている。については、保育士養成施設の指定及び運営基準に準拠した授業内容とした上で、方法やシラバスの変更を行っている。

平成29年度から創設された「保育士等キャリアアップ研修実施機関」にかかる大阪府知事指定を得たことを有効活用し、実践現場のミドルリーダー（保育士）の研修校とし平成30年度・令和元年度の開講実績を踏まえ、更にアピールしていく。

### (こども福祉学科)

学生の知識・技術習得、就業意欲の向上のため、学生のみならず保護者に対しても、本校の教育理念・目標を明確に示し、理解を得る必要がある。そのために令和元年度は、引き続き学生との面談の機会を増やし、細かな目標設定、施設見学やボランティア体験等による将来像の再確認等を行ってきた。又、保護者との連携を意識し、学生の状況に応じ、保護者への連絡（報告）を実施している。今後も保護者が学生の学校生活・学習状況を把握し、教職員との相談を行う機会を増やすことができるような体制づくりに取り組む。

卒業生の就職率 100%達成を維持する為に、早い時期から就職支援を実施する。特に競争率の高い就職先（公務員系）へのアプローチは、学力・資質・専門性だけでなく就職活動スキルも必要となるため計画的な支援体制を継続していく。

令和元年度は大阪府の待機児童解消施策として行われている職業訓練「長期高度人材育成コース（保育士資格コース）」の訓練生の受け入れは行っていない。その為、前年度からの14名の訓練生が令和2年度は在籍することになる。本科生と共に、学びの相乗効果が得られるようにクラス運営を実施する。又、令和2年度はコロンビアから国費留学生の入学を受け入れる。については今後も留学生の受け入れを積極的に行ない、適切な学内体制のもと運営を行っていく。

### (保育士科)

地域や時間を選ばず学べる通信教育で、保育士資格が取得できると共に卒業時には「専門士」が付与されるメリットを多くの方に認識していただくため、広報活動を効果的に展開する。

入学生に対しては、学習継続及び就職についての相談を随時受け付けていることを積極的に周知する。レポート学習、スクーリング学習、実習についての丁寧な説明を学習の手引きに記載すると共に、学生が希望すれば面談のうえ実施する。